NAS

Nagasaki Institute of Applied Science

2009
JUNE
学　報
No.93
編集・発行：入試広報課

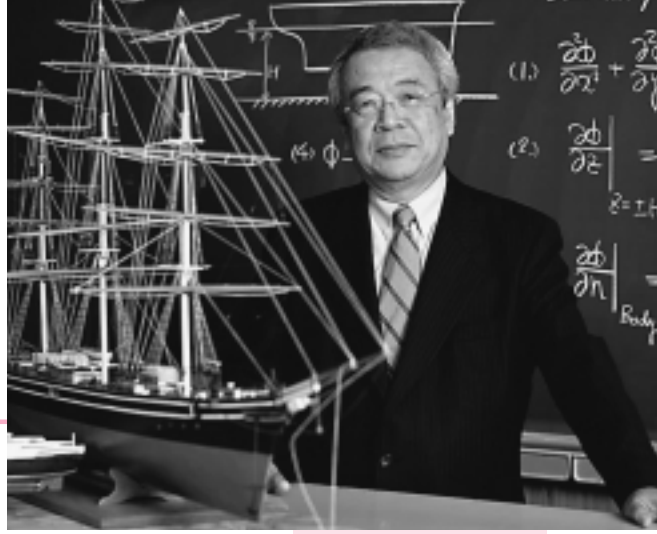
特集
- New NiAS
- 新学長インタビュー
- 入学式
- 学生自治会紹介
- 新任教職員紹介

長崎総合科学大学

URL http://nias.jp/

NEW NiAS 1

貴島新学長インタビュー



これからの長崎総合科学大学『NiAS（ニアス）ビジョン』

平成21年4月より、長崎総合科学大学第16代学長に貴島勝郎氏が就任。就任にあたり抱負を語っていただいた。

■これからの大学の在り方

学生像の変化や、社会のニーズなどを踏まえて、これからの大学の在り方についてお考えをお聞かせ下さい。

わが国の18歳人口が次第に減少している中で、多くの若者が大学に進学している現在、全国には国公立を含めて７５４校の大学が存在します。如何にしてこの状況の中で生き残っていくかは全ての大学に課せられた課題であると思います。

大学は専門知識のみならず、教養と人間形成の場であることは言うまでもありませんが、本来、大学は知能であり、問題を解決してくれる場でもあります。従って、これからの大学は、大学個々の特徴、ユニークさや、良さ等を打ち出すことが極めて大事であると考えます。将来の知・財は大学が担う、つまり大学は先見性を持つことが生き残りの最大の要点ではないかと思います。

生き残りのためには、画一的ではだめで、特徴を持つこと、大学の魅力を有することにあると思われます。

今の世の中は、地球規模で環境やエネルギー危機をもたらしていると考えられることから、この21世紀をより豊かな社会にしていくためには、工学に携わる者は地球の存亡に関わる諸問題を解決するために科学技術の面から社会へ貢献することが求められます。

本学でも、これらの問題を解決するために鋭意努力しているところです。幸い、本学の特徴は、「ものづくり」を基本にした教育にあります。これからの地球の諸問題を解決していく科学技術を身につけた人材を育てていくことにあります。物資の豊富な世の中に育った若者に対し、如何にして「ものづくり」のセンス、工学的センスを育てるか、如何にして考え・工夫するかを教育していくかが求められていると思います。即ち、社会の問題の視点から大学を見ることが不可欠です。このことが、地域への貢献、社会への貢献、あるいは国際貢献へと繋がっていくことだと思います。

学長　貴島　勝郎（Kijima Katsuro）

略　歴

- 1967年３月　九州大学工学部造船学科卒業
- 1972年３月　九州大学大学院工学研究科造船学専攻博士課程修了
- 1972年４月　九州大学工学部造船学科講師
- 1974年６月　九州大学工学部造船学科助教授
- 1986年12月　九州大学工学部造船学科教授
- 2007年３月　九州大学定年退職／九州大学名誉教授
- 2007年４月　長崎総合科学大学工学部船舶工学科特任教授
- 2008年６月　学校法人長崎総合科学大学理事
- 2009年４月　第16代学長に就任

プロフィール

宮崎県出身。工学博士。九州大学名誉教授。専門は船舶工学。1978年４月～９月デルフト工科大学（オランダ）、同年10月～1979年３月マサチューセッツ工科大学（アメリカ）で客員教授として船舶操縦性能に関する理論的研究に従事。日本造船学会理事。日本航海学会評議員。国際海事機関（IMO）の国際会議では日本政府代表として船の操縦性能基準を策定。また、国際試験水槽会議（ITTC）操縦性技術委員会委員長、日本学術振興会「海上輸送に関するアジア交流事業」協力大学委員などを歴任する。現在は日本船舶海洋工学会名誉員。

■本学が進むべき方向と目指すべきポジションについて

本学の「強み（特徴や魅力）」と「弱み（課題）」は何ですか。また、本学が目指すべき方向とポジションについてお考えをお聞かせください。

本学には新しいエネルギー開発に関して、草木や雑草等を資源としたバイオエネルギーの研究があります。現在この成果は実用化に向けた研究開発が進んでいるところです。この研究はわが国でもトップクラスにあり、近いうちに実用化の成果が得られるものと期待されています。同時に、これは本学の大きな特長でもあり、大きな強みでもあります。従って、このようなバイオマスや食料問題、食の安全性などを研究課題の柱として、学内での包括的な研究に発展させ、大学全体として研究の大きな力を生み出す方向に持っていくことが重要であると考えます。

また、もう一つの大きな柱である学生第一主義を基本に学生の学力向上とともに、社会のニーズに充分にこたえられる人材の育成を図ることが重要であると思います。

また、本学には、「ＮｉＡＳプロジェクト」を中心とした全学的な「ものづくり教育」を推進しており、学生主体による環境マネジメントシステムに関する国際規格ＩＳＯ１４００１認証取得と環境活動による地域づくりの連携、海辺に隣接する大学の特性を生かした「海洋スポーツ文化センター」を中心とする教育の推進等々、大きな特徴が数多くあります。

さらに、工学部電気電子工学科の医療電子コースにおいて臨床工学技士を育てる教育を行っています。臨床工学技士とは最新の医療現場でチーム医療のスタッフとして生命維持管理装置を操作する専門技術者です。医療電子コースでは、臨床医学の知識を体系的に学び、同時に電気、電子、機械、計測などの工学分野の知識と技術を基礎から学ぶことにより、医療従事者として総合的な能力を身に付け医療の第一線で活躍できる人材の育成を目指しています。

■先ず、どの様なことに着手するのか

「強み」「弱み」や、進むべき方向をお聞きしましたが、教育、研究活動における、具体的な実行計画（アクションプラン）についてお話ください。

教育に関して先ず実施しなければならないことは、教員一人ひとりが担当している講義において、学生に理解してもらう講義、分かりやすい講義をすることに努めることです。現在の社会が求めているニーズに対して、講義内容が相応しいか、基礎的な部分は充分か、先端的な部分も含まれているか等々、カリキュラム内容を見直して検討することが大事だと思います。学生自身が充分自信がつくように教育していくことだと考えています。

さらに本学の知名度の向上を図るべく、産官学連携センターを中心にして、先述の研究の柱を基礎にして地域への貢献、あるいは社会への貢献に直結するように戦略的研究の実施を進めていくことが不可欠であると思います。

本学の一番の弱みは、知名度が低いことにあると考えられることから、研究成果を社会へ発信することや、教育の成果を強力に発信することが重要であると考えます。

■本学の学生に対するメッセージ

学生に期待すること、お願いしたいことなどお聞かせください。

物資が豊かな時代に育ってきたわが国の若者にとって、最近では、ものづくりに関する興味やセンスが希薄な学生が多いように思われます。いわゆる〝ものづくり〟や〝工学〟というのは身近なところにあるものばかりです。学生の皆さんに期待したいことは、自分の目標をしっかりと持っていただきたいこと、ものづくり全般の事柄に興味を持つとともに、いわゆる工学的センスを育んでほしいということです。物理的な現象やもののメカニズムなどの解明に興味を持つことが工学的センスを育むことにつながると思います。

大学認証評価
日本高等教育評価機構より認定される

Japan Institution for Higher Education Evaluation
JIHEE
since 2004
2008.4－2015.3

長崎総合科学大学は㈶日本高等教育評価機構の平成20年度大学機関別認証評価において、同機構が定める大学評価基準を満たしていると認定されました。認定期間は平成20年（2008年）４月１日から平成27年（2015年）３月31日まで。

㈶日本高等教育評価機構とは

私立大学等に対して第三者評価を行う評価機関。平成16年４月よりすべての大学は教育研究水準の向上に資するため、教育研究、組織運営及び施設設備等について総合的な状況に関し、政令で定める期間（７年以内）ごとに、文部科学大臣が認証する評価機関の実施する認証評価を受けることが義務付けられている。

NEW NiAS 2

「環境・建築学部」１期生入学

長崎総合科学大学入学式

入学式の様子

平成21年度長崎総合科学大学入学式が４月２日㈭、本学体育館にて挙行された。

今年度より開設された「環境・建築学部」の１期生を含む大学院、学部並びに別科日本語研修課程の新入生の入学が貴島勝郎学長より許可された。

入学式では、貴島学長より、「個人個人が確かな目標、自分の進むべき目標を持ち、この大学で大いに知性を磨き、自己研鑽に励んでいただきたい」との式辞があった。続いて、行徳威夫理事長より、「建学の精神である「自律自彊、実学実践、創意創新、宇内和親」、大学の理念である「人類愛の存するところ技術への愛もまた存する」を心に抱きつつ、一生に一度しかない人生、青春を謳歌し、有意義な学生生活を過ごしてほしい」との祝辞があった。引き続き、平田裕次学生自治会執行委員長（工学部建築学科２年生）より「大きく飛躍できるチャンスをこの大学生活で掴んでください」と祝辞があった。

その後、大学院生代表の江口昭仁さん（修士課程電子情報学専攻）、学部生代表の平野秀明さん（工学部船舶工学科）、留学生代表のNguen Truong Sangさん（情報学部経営情報学科、ベトナム出身）の３名より挨拶があった。最後に新入生を代表して道脇響子さん（情報学部経営情報学科）が「専門の知識を深く学び自らの可能性を広げ社会に貢献できる人間になりたい」と宣誓した。

クラブ活動勧誘の様子

宣誓を述べる道脇響子さん（左）

新入生歓迎行事が開催される

４月11日㈯午前９時より、本学グリーンヒルキャンパス体育館及びシェスタ広場において、学生自治会主催による「新入生歓迎行事」が賑やかに開催された。

当日は、新入生を歓迎するかのような晴天に恵まれ、新しい仲間を迎えて、部活動・サークル紹介、新極真空手道部や空手部による演舞、軽音部、音楽部による歓迎演奏等が行われた。

会場には各学部学科のブースのほか、体育会、文化会のクラブ紹介ブースも設置され、新入生をはじめ、在学生、教職員が交流を深めた。

晴天に恵まれた新入生歓迎行事

元気で仲良し！環境・建築学部建築学科の新入生

学生自治会執行委員会

NEW NiAS 3

学生自治会の新役員の決定にともない、１月23日㈮、学生自治会と大学教職員との対面式が学内で執り行われた。

○新しい学生自治会執行委員会の特徴

ユニークでフレンドリー、開放的。

○今後の目標

１．部活動、サークル活動の活性化に向けて、現状の見直しとサポートを推進していく。

２．先輩達を上回れるように、大学の更なる繁栄のため全力を尽くす。

委員長の平田裕次君（右）と副委員長の島内將吉君（左）

○学生自治会執行委員会からのメッセージ

メンバーを募集しているので、一緒に頑張りましょう！

学生の皆さん、教職員の皆さん、今後ともご協力をお願いします。

委員長　平田　裕次君
副委員長　島内　將吉君
書記局長　穴井　渉也君
会計局長　平野　和成君
学友局長　嶋本　祥一君
情宣局長　林　雅大君
（いずれも工学部建築学科２年生）

学生自治会執行委員の皆さん

新任教職員紹介

NEW FACE

□平成21年4月より、本学に新たにスタッフとして加わった教職員の皆様を紹介。

①名前 ②所属・職名 ③趣味・特技など ④抱負など一言

大学教員

①澁谷　顕一
（しぶや　けんいち）
②共通教育センター
准教授
③スポーツ観戦等
④脳科学と運動生理学が専門です。これまでその知見を用いてボート競技日本代表チームをはじめ、様々なチームと関わってきました。その経験を生かし、水上スポーツに限らず様々なスポーツの競技の向上のための支援を行いたいと考えております。スポーツ科学的測定、支援などご相談いただけたらと思います。

大学教員

①澁佐雄一郎
（しぶさ　ゆういちろう）
②共通教育センター
准教授
③スポーツの TV 観戦、球技
④理論を研究してきた経験を使い、物理、数学をわかりやすく伝えられればと思っています。物理の理論について興味があれば質問して下さい。

高校教員

①松林修一郎
（まつばやし　しゅういちろう）
②附属高等学校
常勤講師
③読書、買い物、球技スポーツ
④命には限りがある。その限られた命を何に使うか…。
私は「生徒」、「教育」のために使いたいと思います。
どうぞ宜しくお願い致します。

大学教員

①田中　　僚
（たなか　りょう）
②工学部電気電子工学科
助教
③登山、球を使わないスポーツ、アマチュア無線
④教員としては一年生です。初年度いろいろあるかもしれませんが、一緒に成長していきましょう。よろしくお願いします。
（ちなみに本学の卒業生です。何か相談事があったらいらして下さい。）

大学職員

①森　　剛
（もり　つよし）
②学生生活支援センター
長
③ウォーキング、ゴルフ、読書、音楽を聴くこと
④ビジネスマン生活で培った経験を生かして、若い皆さんのサポートをしたいと思っています。
ご相談したい事がある方も、そうでない方も、学生生活支援センターのドアをノックしてみてください。出会いを大切にして良いご縁をつくっていきたいと思います。

大学職員

①荒木　則之
（あらき　のりゆき）
②入試広報課
（長崎事務所所長）
③読書（乱読）、カメラ（乱写？）
④本学の魅力（先生方の最先端の研究成果や学生の皆さんの学ぶ姿等々）を広く外に伝え、沢山の学生が集う大学であることを願って務めたいと思っています。

祝 卒業

大学院学位記授与式、学部卒業式並びに別科修了式が挙行される

62歳で博士の学位記を授与される
馬場　脩氏

答辞を述べる松島加奈さん

3月14日㈯本学体育館において、平成20年度の大学院学位記授与式、学部卒業式並びに別科修了式が挙行された。

式では、大学院生並びに学部生に学位記、別科生に修了証書が林一馬学長より授与された。続いて、学長より、俳人・松尾芭蕉の言葉「不易流行」をもとに、「激動の時代には、変わらざるものと日々変革を求める双方の態度が大切であり、この志をもって自ら21世紀を切り拓いてください」との式辞があった。また、在学生を代表して学生自治会執行委員長の平田裕次君が祝辞を述べた。これに対して、大学院生を代表して、松島加奈さん、学部生を代表して、松田真由美さん、別科生を代表して、鄭才美さん（韓国）がそれぞれ答辞を述べた。

続いて、学部生、大学院生の優秀な研究に対する学会表彰が執り行われた。

今年度は情報学部1期生を含め318名が学び舎を巣立った。

大学院では、社会人5名が博士の学位記を授与された。特に、大学院工学研究科博士課程総合システム工学専攻の馬場脩氏は62歳。今回の授与式にシンガポールより来崎された。

式後には、同窓会による祝賀会が学内食堂で盛大に行われた。

学会表彰

大学院工学研究科	日本機械学会　三浦賞	（生産技術学専攻）	高橋　一暢君
	電子情報通信学会　学術奨励賞	（電子情報学専攻）	塩塚　信人君
	溶接学会　奨学賞	（生産技術学専攻）	野上　貴史君
船舶工学科	日本船舶海洋工学会　奨学褒賞		小平　保文君
機械工学科	日本機械学会　畠山賞		吉本　浩輔君
	溶接学会　奨学賞		吉本　浩輔君
電気電子情報工学科	電子情報通信学会　九州支部長表彰		池田　康喜君
	電気学会　九州支部長賞		吉田　昌平君
建築学科	日本建築学会　九州支部長賞		松本　賢人君
	日本都市計画学会　九州支部長賞		里　亜起帆さん
	日本コンクリート工学協会　九州支部長賞		秀島　徹君 松尾　一要君
知能情報学科	電子情報通信学会九州支部支部長表彰（成績優秀賞）		永浦　尊信君
経営情報学科	日本経営工学会　優秀学生賞		溝口　和也君
	日本経営工学会　九州支部長賞		佐藤かおりさん 末永　拓也君 菅井　隆之君 島崎　敬太君 吉田　司君
	長崎県中小企業団体　中央会賞		山口　拡君

学位記授与　博士（工学）

博士課程総合システム工学専攻

氏　名	論文題目
○馬場　脩氏	『SPB 方式 LNG 船アルミニウム合金タンクの溶接継手品質向上に関する研究』
○井上　克明氏	『溶接構造物隅肉溶接継手止端部疲労強度の簡易評価法に関する研究』
○中島　清孝氏	『厚鋼板の微視組織制御による疲労き裂進展抑制に関する研究』
○清水　明氏	『高温ガス炉水蒸気改質装置の性能評価に関する研究』
○堤　雅徳氏	『蒸気タービン翼列における二次流れ発生機構とその制御に関する研究』

卒業生メッセージ

①学部・学科
②出身校
③就職先

赤木　亮仁（アカギ　アキノリ）君

①工学部船舶工学科
②鹿町工業高校
③三菱重工業㈱長崎造船所

私はこの大学生活で人間的に成長する事ができました。

それは、恵まれた友人達に出会う事ができ、先生方のお力添えがあったからだと思います。後輩の皆さんにも、楽しい大学生活を送って欲しい思います。そして、就職活動もがんばって下さい。

不景気になり厳しいと思いますが、自分のやりたい事や興味がある事を探し、その目的達成の為に努力して下さい。そうしたら、自分の夢に一歩近づくと思います。

大久保　卓（オオクボ　スグル）君

①工学部船舶工学科
②ルーテル学院高校
③日本海運㈱

私は大学生活の4年間で、学業の他にもアルバイトやサークル活動、卒業研究など様々な経験を積むことが出来ました。私が長崎で過ごした4年間は、多くの仲間や先輩、先生方などに支えてもらった4年間でもありました。

最後に、大学は色々なことに挑戦できる場所です。4年間は長くも短くもなく、全員に平等に与えられる時間です。皆さん後悔のないように学生生活を送って下さい。

泉田　浩明（イズミダ　ヒロアキ）君

①工学部機械工学科
②長崎総合科学大学附属高校
③協和機電工業㈱

大学生活を4年間振り返ってみると、とてもあっというまでした。

高校からの友達も多く、また大学での新しい友達とも巡り会えて、とても充実した、楽しい大学生活を送ることができました。

大学4年間の中では、就職活動が一番大変でした。後輩のみなさんには、早い時期から熱心に就職活動に取り組み、より自分の志望する会社へ内定が貰えるように頑張ってください。

岩永　大（イワナガ　マサル）君

①工学部機械工学科
②長崎総合科学大学附属高校
③新日本非破壊検査㈱

私にとっての大学生活は多くの物事や多くの人達と接することができたとても有意義な4年間でした。

それは友達との交流や、アルバイトの先輩や仲間、先生方との関わりを持ったことで、今までは知らなかったことや考えに触れることができ、その度に自分は気づかされ視野を広げていくことができたと思います。

後輩の皆さんへ、一日一日を友達や仲間と一緒に大切に過ごして下さい。

田島　俊郎（タシマ　トシロウ）君

①工学部建築学科
②長崎工業高校
③㈱谷川建設

これまでを振り返ると、様々なことを経験できた4年間だったと思います。

いろいろなことに挑戦し、成功することもあれば、失敗もありました。しかし、その度に私を支えてくれた友人のお陰で、今の私が存在していると思います。

楽しいこともあれば、辛いこともあると思いますが、残りの大学生活を有意義に過ごし、たくさんの友人と笑顔で卒業を迎えることができるよう、頑張って下さい。

大学で過ごした4年間は、私にとってとても充実したものでした。沢山の素敵な友達や先生方と出会い、そのお陰で多くの考えに触れることができ、自分の世界が広がったと感じています。

後輩の皆さんへ、目標を持ち悔いの残らないような学生生活を送ってください。

平　香織（タイラ　カオリ）さん

①工学部電気電子情報工学科
②北松西高校
③佐世保重工業㈱

大学生活での一番の思い出は、沢山の仲間や後輩たちと出会い、一緒に勉強したり遊んだり、就職活動ではお互い支えながら一生懸命大学でのキャンパスライフを過ごした事です。

特に2年生の時に『Career Net Cafe』という就職やキャリアを考えるサークルに入り、学部、学年を飛び越えて沢山の仲間を作る事が出来ました。

市内のカフェで社会人や他大学生も含めたイベントを開催したり、そのあとの打ち上げ等の思い出は一生のよい思い出です。

様々な経験の中で、自分磨きが出来、就職も将来の夢も見つける事が出来ました。

今までお世話になった皆さん本当にありがとうございました。

これからは少しでも恩返しが出来るように頑張ります。それまで待っていて下さい。NiASのみなさんありがとうございました。

志賀　達哉（シガ　タツヤ）君

①情報学部経営情報学科
②鎮西学院高校
③㈱昭和堂

塩塚　信人（シオヅカ　ノブヒト）君

①大学院工学研究科
②九州共立大学
③㈱メイテック

他大学からの大学院入学で、初めは解らない事ばかりだった私も学部生を指導したり、後輩の院生に教えることが出来る様になりました。ここまで来れたのは自分自身を常に追い込んで来たことに有ると思います。「どうにかなるさ」ではなく、「どうにかしなきゃ」と考える事が大切なのだと学んだ二年間でした。

大学院生活は、本当に山あり、谷ありでしたが、今後の長い人生を生き抜くための一つの試練を乗り越えられたと感じています。

私は、学部の時と合わせて六年間大学にいましたが、仲間と共に勉強したり、遊んだりと大変充実した学生生活を過ごすことができました。

四月からは社会人となり、不安もありますが、大学で培った知識や経験を活かして頑張りたいと思います。

後輩の皆さんへ、学生生活の中で、多くのことにチャレンジして、仲間と共に悔いのない学生生活を送って下さい。

野上　貴史（ノガミ　タカシ）君

①大学院工学研究科
②長崎総合科学大学工学部機械工学科
③㈶日本海事協会

TOPICS ❶ 建築学 海外研修

2月26日㈭～3月6日㈮の9日間の日程で、工学部建築学科の3年生13名（男子8名、女子5名）が海外研修を実施した。今回は同学科の鮫島和夫教授が引率し、ゴシック・ルネッサンス・バロック・アールヌーヴォー・キュビズム建築と街並の世界遺産周遊9日間「歴史的街並とアールヌーヴォー建築の宝庫・中央ヨーロッパ5カ国研修の旅」と題し、チェコ、オーストリア、ハンガリー等を訪問した。

これは、同学科の授業科目「建築学海外研修」として毎年実施しているもので、渡航費用の一部を大学が補助している。

参加した学生は国際交流と異文化について学び、良い刺激を受けた貴重な体験となった。

世界遺産チェスキークロムロフ

○建築学科の海外研修

2007年度：ドイツ、パリ
2006年度：スペイン、ポルトガル
2005年度：トルコ
2004年度：フランス、スペイン
2003年度：イタリア
2002年度：スペイン

ザルツブルク城を背後に記念撮影

TOPICS ❷ ～祝 NHK大学ロボコン2009～ ABUアジア・太平洋ロボコン代表選考会 出場決定

今年度「NiAS 夢工房」のメンバー

長崎総合科学大学「NiAS夢工房」【リーダー：藤井孝行君（情報学部知能情報学科4年）、顧問：谷昇共通教育センター教授】が「NHK大学ロボコン2009～ABUアジア・太平洋ロボコン代表選考会」に厳しい書類選考とビデオ選考を通過して見事、2年ぶり10回目の出場を決めた。

「第二次選考」を通過したのは、全国でわずか20チーム。このうち、九州では、本学を含め3大学。九州の私立大学では唯一出場を決めた。

過去には準優勝1回、ベスト4進出2回をはじめ、数々の賞を受賞するなど輝かしい実績を残しており、今回悲願の日本一の夢を目指す。

大会は2009（平成21）年6月7日㈰に東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センター大体育室にて開催される。

今年は全国的にも珍しい女性の多いチーム。作業にも積極的。

長崎総合科学大学「NiAS 夢工房」の大学ロボコンでの過去の成績

第6回(1997)「プレミアム・ナビゲーター」…準優勝
第7回(1998)「ミラクル・タワー」…ベスト4＆技術賞
第8回(1999)「ロボ・サッカー」…初戦敗退
第9回(2000)「スノー・ファイター」…2度目の技術賞獲得
第11回(2002)「富士山頂をめざせ!!」…ベスト4＆デザイン賞
第12回(2003)「タクローの覇者」…ベスト8＆アイデア賞
第13回(2004)「織姫と彦星」…初戦敗退
第15回(2006)「ツインタワービルダー」…予選リーグ敗退
第16回(2007)「ハロン湾の伝説」…予選リーグ敗退

TOPICS ❸ 「長崎帆船まつり」に船舶工学科が企画参加

船のペーパークラフト教室

4月23日㈭～27日㈪に開催された「2009長崎帆船まつり」に今年も本学工学部船舶工学科が企画参加し、大勢の家族連れなどで賑わった。

長崎帆船まつりは毎年、長崎港周辺（長崎水辺の森公園、松が枝国際観光埠頭など）で帆船の海上パレードや体験クルーズ、船内公開、打ち上げ花火などが実施され、多くの観光客で賑わうビッグイベント。

本学船舶工学科と海洋スポーツ・文化センターは「ソーラボートの試乗・展示」と「船のペーパークラフト教室・水槽試験用模型船展示」を4月25日㈯と26日㈰に実施。今年は天候不順で肌寒いなかでの帆船まつりとなったが、どちらも大盛況だった。

ソーラボートの試乗

「ソーラーボートの試乗・展示」は、船舶工学科の「夢の船研究会」の学生有志と林田滋教授が中心となり、毎年実施。ボートは長さ4メートル、幅1・4メートル。太陽光発電を利用して動く仕組みで、主にイベント用として活用し、一昨年は大学対岸の牧島を一周したことも。また、1人乗りのソーラーボートでは、毎年福岡県の柳川などでの大会にも参加し、好成績を納めている。

◀「自転車発電」の様子

▶子どもに大人気の「ミニ四駆」

TOPICS ❹ 工学部機械工学科が「自転車発電」でイベント参加

5月16日(土)、17日(日)の2日間にわたって長崎水辺の森公園で開催された、KTNテレビ長崎開局40周年記念の「2009KTNの日水辺の森から〝ありがとう〟」に今年も工学部機械工学科の藤川卓爾教授と研究室の学生たちが参加した。

藤川研究室は、地球温暖化防止のための県民キャンペーン「チーム長崎」を啓蒙するなどを目的とした「エコゾーン」の中央部で、一昨年より始めた「自転車発電」に参画。

これは、自転車をこいで発電し、ポータブルミシンでぞうきんを縫ったり、レコードプレーヤーを演奏したり、シャボン玉を作ったりすることにより、電気の大切さを実感してもらうもの。今回は自転車や手回しの発電機で動く「ミニ四駆」が初登場し、子どもに大人気だった。

話題人

「HeArt2008Nagasaki 長崎水辺の映像祭」で見事、特別賞の高原寛賞を授賞した福井翔平君

長崎総合科学大学附属高等学校卒業。
本学情報学部知能情報学科を今春卒業。
現在、本学大学院在学中。

本学で学んでいること

研究室の池末純一教授から指導を受ける

3DCG制作や音楽制作、映像編集の勉強をしています。

映像作品には様々な要素が必要になります。CGを制作するための人体についての知識や、モノの質感。映像の雰囲気を演出するための音楽。見る人の目を引くエフェクト。

このように、映像作品の制作には多くの知識が必要になるのですが作品が完成したときには得難い達成感を味わうことが出来ます。

今頑張っていること

福井君が制作した高品位のCG映像

より魅力的な3DCGを制作するために、リアルな質感のCGや、逆に3Dとは思えないような絵画的な質感を作るための手法を研究中です。

そして様々なコンペに出展するために、次の映像作品の構想を練っています。

今後の抱負

自分の思い描く世界を映像作品として自由に表現出来るようになりたいです。

まだまだやってみたい表現や作ってみたいものはたくさんあるので、好きなことを勉強出来る学生という時間のうちに、たくさんのものを作りたいです。

授賞式では恩師の池末教授より記念のTシャツが贈呈された。

2月14日に開催された「HeArt 2008 Nagasaki 長崎水辺の映像祭」の授賞式。見事、特別賞の高原寛賞を授賞した福井君。本学の知能情報学科の学生は3年連続授賞の快挙。

福井君の今後のさらなる飛躍と活躍が期待される。

※「高原寛記念賞」とは、一昨年死去された長崎市の写真・映像プロダクション会社元社長の高原寛さんの功績を記念し、昨年度から新設された賞。

学位(博士号)取得

伴丈正志建築学科准教授が、平成21年3月神戸大学より博士（工学）の学位を授与された。

論文題目は「居住地の環境単位に関する研究」。同准教授の専攻分野は建築学、専門分野は建築計画・地域計画。今後ますますの活躍が期待される。

産官学連携

産官学連携の更なる深化に向けて

産官学連携センター長
池上 国広教授

長崎総合科学大学では、昨年8月に新しく「産官学連携センター」を設立いたしました。「産学官」というのが通例ですが、敢えて「学」を最後に持ってきたのは、「産」と「官」を後からしっかりと支える存在でありたいという思いからです。

本学は、1943年の創立以来、地方大学のあり方として「地域との共生」「地域再生への貢献」を掲げ、県内唯一の理工系の私立大学として、技術支援や人材育成による地域企業との科学技術・産業分野における密接な協力関係を構築してきました。しかしながら、これまでの活動は、先生方個人の活動に頼っていた面が大きく、自ずから限界があったように思われます。ところで、最近の大学を取り巻く状況の急激な変化により、大学は、「深く真理を探求して新たな知見を創造し、これらの成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するものとする。（教育基本法）」として、第3の使命としての「社会貢献」が益々強く求められるようになってきました。したがって、これをこれまで以上に強力に推し進めるためには、個人主体の対応から全学的かつ組織的な対応へと転換することが不可欠であるとの認識から、本センターを立ち上げることになりました。

本センターの主要な業務として、「産官学連携による技術開発・持続可能な社会開発の推進」、「知的財産の創出・活用の推進」、「競争的資金による研究プロジェクトの獲得・推進」を掲げ、兼担教員、産官学連携コーディネーター、学科等代表コーディネーター、事務局に研究助成推進課を配置して、精力的な活動を展開しています。この他にも、技術相談、講演会・交流会等による情報発信、ベンチャーオフィスの提供による起業支援等々、地域に密着した活動を展開して、地域に信頼され親しまれるセンターを目指しています。

ところで、大学の教育研究成果の社会への提供の形は、究極的には知財と人財（材）に集約されるように思います。知財に関しては、「大学や研究機関の活動が社会全体における知的財産の創造に資するものであることから、研究成果の普及に積極的に努めることは大学の責務である。（知的財産基本法）」とされています。本学では、研究成果を知財の形にまとめることを義務化し、原則機関帰属として、特許の申請から活用まで大学が責任を持って進める体制を整えています。また、知財教育にも取り組むこととし、この4月から大学院の学生を対象とした「知的財産権特論」を開講しています。この開講に対しては、㈳発明協会長崎県支部殿の全面的なバックアップを頂いています。また、「無料開放講座」として社会人の方にも開放しています。

大学が人財（材）を社会に送り出すことは、大学の教育研究成果の社会還元そのものであり、最も重要な社会貢献ではないかと思います。その人財（材）が社会の要請に応え得る人材として育つためには、産官学が連携した育成が必要です。長崎県とも連携を取りながら、具体的内容についての検討を始めました。

ところで、産官学連携の成功事例は、産のニーズに基づいたケースが多いようです。大学における研究成果が社会に貢献するためには、社会のニーズを的確に把握して研究活動を展開することが重要です。それには、産官学の間の情報交換、技術交流が大切であり、その交流の場所を提供するのが、本センターの最も重要な役割だと思っています。大学の敷居は決して高くありません。産官学連携には「イコールパートナー」の思想で取り組むべきです。理想は、本センターが産官学の人たちのサロンになることです。多くの方に気軽に足を運んでもらい、実のある交流ができればと思っています。

知的財産教育への取り組み 社会人開放講義がスタート

社会人も受講した「知的財産権特論」講義の様子

長崎総合科学大学では、平成21年度より知的財産教育への取り組みとして、大学院工学研究科において授業科目「知的財産権特論」（前期・後期）を開講。4月10日㈮、学内にて第1回目の講義を行った。併せて、本講義は社会人にも無料開放し、知的財産学習の機会を広く地域の方々に提供し、弁理士や知的財産管理技能士の資格取得の支援を行う。

第1回講義は受講者39名（うち 社会人10名）。本学の前知的財産アドバイザーの飯野 顕 氏がイントロダクションを担当した。担当者は、本学教員の他に、知的財産アドバイザー、㈳発明協会アドバイザーなど外部機関の協力も得て、前期に「知的財産権特論Ⅰ」、後期に「知的財産権特論Ⅱ」という科目名で、それぞれ15回の講義が実施される予定。

ハウステンボス「長崎次世代エネルギーパーク」に本学も参画

中尾准教授が基本設計した電気推進旅客船

今年3月24日にオープンしたハウステンボス（佐世保市）の次世代エネルギーパーク。このエネルギーパークは、長崎県、佐世保市、ハウステンボス、九州電力、電源開発、長崎総合科学大学、佐世保高専の八者が産官学連携で運営している。地球環境と調和した将来のエネルギーのあり方について広く国民の理解の増進を図るため、国が全国13ヶ所を認定。ハウステンボスは国内最大級の太陽光発電設備を備え、本学工学部船舶工学科の中尾浩一准教授らも協力し、基本設計を手掛けたソーラーパネルを利用した環境にやさしい電気推進旅客船や小型電動ボートも運航される。

「バイオマスフォーラムｉｎ長崎」で坂井教授が講演

3月6日㈮13：00～16：40、長崎県農協会館7階大会議室（長崎市出島町1番20号）で農林水産省平成20年度環境バイオマス総合対策推進事業「バイオマスフォーラムｉｎ長崎」（主催：九州バイオマス発見活用協議会　共催：長崎県、長崎大学環境科学部、長崎総合科学大学）が開催され、企業、官公庁、大学関係者など約120名が出席した。このフォーラムにおいて、本学人間環境学部の坂井正康教授が「地球温暖化と新エネルギー」と題して講演した。

同教授はバイオマスからのガス化メタノール合成、浮遊外熱式高カロリーガス化の発案など、バイオマスエネルギー利用に関する研究の第一人者。現在、農林水産省とのプロジェクトをはじめ、様々な産官学連携による研究を実施しており、今年2月末の衆議院予算委員会での質疑応答でも、同教授の研究プロジェクトが話題になった。

また、長崎新聞（平成21年3月20日）、日本農業新聞（平成21年4月14日）においても、同教授の先進的なバイオマス研究・開発に関して掲載された。

坂井正康教授の講演の様子

本学でのシンポジウムの様子

長崎県産官学連携人材育成事業シンポジウム「組込みソフトの現状と将来」開催される

2月28日㈯、本学シーサイドキャンパスにおいて第6回学術フロンティアセンターシンポジウム「組込みソフトの現状と将来　～次世代自動車と医療への応用に向けて～」が開催された。

現在、情報家電や自動車などわたしたちの生活の身近な製品のありとあらゆるところに組み込まれているソフトウェアの基礎的な知識と将来展望について、長崎大学と長崎総合科学大学、長崎県が連携してセミナー等を開催した。

JAXAと本学が共同研究契約を締結

平成20年11月、「先進複合材の液相中環境試験評価法に関する研究」をテーマに、本学と独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）研究開発本部材料グループとが共同研究で契約書を交わした。

この共同研究は、液相環境（水や海水等）が先進複合材の強度に与える影響に関して、適切な試験・評価法に向けた知見の獲得、および液相環境中の基礎データの取得を目的としている。

本学は、大学院工学研究科・工学部機械工学科の矢島浩教授、渡邊栄一教授、谷野忠和准教授、仲尾晋一郎准教授が担当する。また、JAXAでは本学大学院（博士課程）修了の星　光氏も担当する。

【これまでのJAXAとの関係】

■平成14年4月～
　平成18年3月
　学生の国内留学：星　光君（M（修士課程）2年、D（博士課程）1～3年）

■平成18年4月～
　平成21年3月
　プロジェクト研究員：星　光君（Post Doctor）

■平成20年3月～
　平成20年12月
　学生の国内留学：村上貴志君（M2年）

□平成18年4月～
　共同研究：「CFRP材の海水中疲労強度に関する研究」

□平成19年4月～
　共同研究：「YS－11アルミニウム合金材の残余強度評価に関する研究」

□平成20年4月～
　共同研究：「CFRP材修理部の強度評価に関する研究」

JAXA と本学の関係者

JAXA の永尾氏（左）と本学の慎常務理事

附属高等学校 入学式

附属高等学校入学式の様子

平成21年度長崎総合科学大学附属高等学校の入学式が、4月8日㈫13時30分より本学グリーンヒルキャンパス3号館大講義室で挙行された。

時津政憲校長が新入生125名の入学を許可し、長崎総合科学大学の建学の精神「自律自彊」「実学実践」「創意創新」「宇内和親」をもとに「自らの行動に誇りと自信を持てる高校生活を歩むこと、自分の中に秘められた大きな宝を引き出す努力を継続すること、本当の意味での人間的魅力と賢さを備えた人間となるよう努力すること、『和』の心を大切にすること」の4つのお願いを式辞の中で述べた。

続いて、今年4月より長崎総合科学大学の学長に就任した貴島勝郎学長から「知性を磨き、体力を鍛え、自己研鑽に励まれることを祈念します」との祝辞があり、中村昭夫附属高等学校育友会会長から「大学と連携した教育環境を持つ本校で、教師と生徒が一体となる師弟同行の精神を発揮して、勉強やスポーツに励み自分の目標を達成できるよう過ごしてください」と励ましの言葉があった。その後、入学生代表生が宣誓を行った。

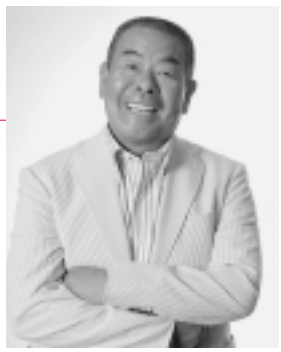
今年は新設された「スポーツ推薦入試（一般、優待、特待）」を利用して入学した生徒も含まれている。

入学生代表生の宣誓

小嶺忠敏総監督（長崎総合科学大学教授）を招き、注目を浴びる新生「サッカー部」の最近の動向に迫る！

長崎総合科学大学附属高等学校 サッカー部

○サッカー界のカリスマ「小嶺忠敏」教授が長崎総合科学大学並びに附属高等学校サッカー部の総監督に就任



小嶺忠敏氏は長崎総合科学大学教授として教鞭を執るとともに平成20年度より、長崎総合科学大学並びに長崎総合科学大学附属高等学校のサッカー部の総監督に就任している。

○充実した指導体制と設備で長崎総合科学大学附属高等学校サッカー部を強化　日本一の夢を目指す！

附属高等学校では、サッカー部、ヨット部、野球部を強化指定クラブとし、特にサッカー部は小嶺忠敏総監督以下、国見高校時代に選手として日本一を経験した定方敏和教諭が監督に松林修一郎教諭がコーチに就任。充実した指導体制で、徹底した人材育成を行っている。

また、V・ファーレン長崎よりコーチとして選手を派遣していただき、附属高等学校サッカー部を指導していただいている。

サッカー部では、専用の遠征用バスも完備。日本一の夢を目指す！

サッカー部専用バス

長崎総合科学大学
附属高等学校

サッカー部

小嶺総監督の指導にも熱が入る

★スタッフについて

総監督：小嶺　忠敏　教授
監　督：定方　敏和　教諭
コーチ：松林修一郎　教諭
主　将：松本　隆太　君（３年生）
部　員：53名（３年生：７名、２年生：12名、１年生：33名、マネージャー：１名）

★GW 期間中の遠征等

Ａグループ　熊本・広島・佐賀遠征（１日、２日……熊本：交流試合　３試合）
（３～５日……広島：もみじカップ　５試合）
（６日……佐賀：佐賀商業交流試合　３試合）
Ｂグループ　長崎フェスティバル　（３日～５日……長崎東高校Ｇ　６試合）

★今後（今年度）のチーム目標と人材育成について
定方敏和監督に伺った。

左から松林コーチ、小嶺総監督、定方監督

『サッカー選手の前に一人前の人間性を磨け！』
一流の選手でも社会に出たならば、１人の『人』です。ですから、『人間性』を、この３年間で磨き上げてほしいと思います。

素晴らしい人間性を持つことにより、いいサッカー選手になれると思いますので、強い意志を持ち一人ひとりが逞しい『人』を育成していきたいと考えています。
まず、土台（人間性）を築き上げて、【闘える集団】をつくることが今年度の目標の一つでもあります。

【目先の勝利者ではなく、人生の勝利者になれ！】
総監督の小嶺先生が高校時代の私たちに伝えてくださった言葉です。

アクセス急増中！
Check サッカー部ブログ
http://blog.goo.ne.jp/nias_sada/

表紙モデル紹介

工学部　電気電子工学科　医療電子コース２年
（長崎県／純心女子高等学校出身）　**松田彩智美**さん

NiAS のココがスゴイ！：
最先端の医療機器を取り扱うスペシャリストである国家資格「臨床工学技士」の夢に向かって、勉強中です。医療電子コースの実習室はたくさんの機器が揃っていて、これからの実習が楽しみです。

好きな授業：
電気電子基礎実験
機器の取り扱いと使用方法、データの取り方、グラフ用紙の扱い方など、「実験の進め方」と「実験報告書の書き方」を学んでいます。レポートは大変ですが、とても楽しいです。

長崎のオススメスポット：
稲佐山（夜景がきれい）。。。ですが、長崎総合科学大学の目前に広がる碧い網場湾の海が素敵で癒されますよ！
ペンギン水族館のペンギンもとてもかわいい！
ぜひ、一度オープンキャンパスへ！

帆船まつりで美術部が銅賞！

４月23日㈭～27日㈪に開催された「2009長崎帆船まつり」で附属高等学校美術部が大型ポスター制作で参加。見事、先賢大絵図「銅賞」を受賞した。

美術部顧問・笹田教諭引率のもと、盛大な帆船まつりのなか授賞式に参加した。

◀附属高等学校美術部は毎年参加。
また、その様子を写真部の部員が撮影。

Information

■参加申込み受付中
2009 長崎総合科学大学 オープンキャンパス

第1回 7/26(日) | 第2回 9/27(日) | 入試直前相談会 11/7(土)

時間　10：30～15：00（受付10：00～）

場所　長崎総合科学大学　グリーンヒルキャンパス&シーサイドキャンパス

オープンキャンパスプログラム

※オープンキャンパスの内容は各回で異なります。

- 模擬講義
- 学部・学科紹介、見学
- 学生食堂体験（無料）
- 進学相談 ほか

来場者には特製オリジナルグッズをプレゼント！

オープンキャンパス当日は無料送迎バスを運行します！
※詳細は下記までお問い合わせください。

実験設備見学の様子

学生スタッフ

■資料請求受付中
大学案内パンフレット発行

長崎総合科学大学の大学案内パンフレット2010年度版が完成しました。

■アイデア募集中
全国高校生アイデアコンテスト

第5回全国高校生デジタルメディアコンテスト
主催：情報学部　知能情報学科　経営情報学科

第12回全国高校生設計アイデアコンテスト
主催：環境・建築学部　建築学科

平成21年度（2009年度）コンテスト募集要項配布中

特典

・最優秀賞、優秀賞を受賞した者は、特待生B※の出願資格を得ることができる。「AO（特待生）入試」で選考。
・なお、1、2年生が最優秀賞、優秀賞を受賞した場合は、受験該当年度に特待生Bで出願する権利を有する。「AO（特待生）入試」で選考。
・各コンテストの最優秀賞受賞者（高校生代表者1名及び引率教員1名）を本学に招待し、表彰式で表彰致します。

■出前講義、体験学習 申込み受付中

NiASセミナー　豊富なメニュー

本学では進路指導や総合的な学習に活用いただくための「NiASセミナー」を実施しています。

大学での教育・研究のエッセンスや最新の成果等を生徒の皆さんへわかり易くお話しするものです。

体験学習　多彩なプログラム

高等学校におけるキャリア教育、進路指導の一環として、本学の施設・設備を利用した学習プログラムも準備しています。

特待生B　国立大学並みの学費

1．AO（特待生）入試
各種資格取得者、各種コンテスト、スポーツ・文化活動などの面で優秀であり、入学後も継続して活動できる者から選考。

2．留学生前期入試
日本留学試験を受験した者で、「日本語」の成績が250／400点以上の者から選考。

定員：21名＋若干名
授業料を年間600,000円減免
2年間適用
（3、4年次の継続は審査する）

工　学　部	9名＋若干名
情　報　学　部	6名＋若干名
環境・建築学部	6名＋若干名

編集後記

この4月より入試広報課へ異動となり毎日が勉強の連続。恥ずかしながら右も左も分からないということを久々に実感した次第である。同じような思いをこの春社会人となった本学OB達も経験しているのであろうか？経済不況で厳しい船出となっていると思うがどうか初心を忘れず一社会人として頑張って欲しいと願う。これからは大学の動きや学生の活発な取り組みを広報活動していきたいと思います。（K）

本学に今年4月より新たに「環境・建築学部」が開設！昨年、長崎ではCO2削減のため、試験的にノーマイカーデーが実施された。しかしながら、今年のゴールデンウィーク。高速道路はETCの千円効果で大渋滞。全国各地の行楽地はたくさんの観光客とCO2で賑わったに違いない。世の中、矛盾はつきものだが、「エコ」と「エゴ」。選択が迫られる時代かもしれない。（T）

詳細は入試広報課または大学ホームページ（http://nias.jp）参照
問い合せ先：入試広報課
☎ 0120-801-253
E-mail：adm@NiAS.ac.jp

※NiAS（ニアス）は、大学の英文名 Nagasaki Institute of Applied Science の略称です。

このQRコードで
本学携帯電話ホームページにアクセスできます